

令和4年 第10回教育委員会定例会議 会議録

1 日 時 令和4年10月19日(水)
開会 13時30分
閉会 14時50分

2 会 場 金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 出席委員(5名)

教 育 長	野 口 弘
教 育 委 員	田 邊 俊 治
〃	丸 山 章 子
〃	木 村 陽 子
〃	長 澤 裕 子

4 欠席委員(2名)

教 育 委 員	大 島 淳 光
〃	櫻 吉 啓 介

事務局

教育次長
担当次長(兼)教育総務課長
教育総務課担当課長(兼)課長補佐
担当次長(兼)学校職員課長
学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐
担当次長(兼)学校指導課長
学校指導課担当課長(兼)課長補佐
市立工業高校事務局長
担当次長(兼)生涯学習課長
図書館総務課長
(兼)玉川図書館長
(兼)玉川図書館近世史料館長
(兼)玉川図書館城北分館長
教育プラザ総括施設長
(併)こども相談センター所長
学校教育センター所長

上 寺 武 志
堀 場 喜一郎
寺 末 哲 也
中 村 健 一
外 川 奨
地 下 雅 志
藤 尾 裕
長谷川 智 朗
安 宅 英 一
岩 井 隆 之

今 寺 誠

熊 谷 有紀子

5 案 件

議案第24号	令和5年度金沢市立小・中学校における教育課程編成・実施の基本方針(案)について	(学校指導課)
報告第35号	金沢市立学校における新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況について	(学校指導課)
報告第36号	金沢市立小・中学校の勤務時間記録の集計結果(令和4年度4～9月分)について	(学校職員課)
報告第37号	令和5年度金沢市立工業高等学校全日制の課程第1学年入学者募集要項について	(市立工業高等学校事務局)

報告第38号 令和5年度からの金沢市立工業高等学校の新制服について
(市立工業高等学校事務局)

報告第39号 令和4年度金沢市社会教育功労者表彰について (生涯学習課)

報告第40号 令和4年度上半期における教職員研修について (学校教育センター)

その他

(1) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、傍聴希望者2名について協議し、傍聴を許可した。次に、会議録署名委員に丸山委員を指名した。本日の議題について、全て公開とすることを全会一致で決定した。

審議に入り、議案第24号、報告第35号、報告第36号、報告第37号、報告第38号、報告第39号、報告第40号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、11月の定例会議の開催日を次のとおり決定し、閉会した。

* 11月の定例会議の日程：令和4年11月16日（水）13：30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 議案第24号 令和5年度金沢市立小・中学校における教育課程編成・実施の基本方針（案）について（学校指導課）

（説明の概要）議案書2ページ。本基本方針は、「Ⅰ 教育課程編成の基本的な考え方」「Ⅱ 教育課程実施の基本的な考え方」「Ⅲ 教育課程編成・実施の留意事項」「Ⅳ 新型コロナウイルス感染症対策と学びの保障の両立に向けての留意事項」の四つの章で記載されている。各学校は本基本方針に基づき、教育課程を編成・実施することとなる。

別冊資料1ページ。令和3年1月、中央教育審議会から答申された『令和の日本型学校教育』の構築を目指してには、「急激に変化する時代の中で、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることのできる資質・能力を育成することが求められており、その資質・能力を育むためには、新学習指導要領の着実な実施が重要である」と記されている。この答申を踏まえ、学習指導要領の着実な実施に向けて、本市の教育課程の基本方針を策定している。

令和5年度は、現行の学習指導要領が全面実施されて小学校は4年目、中学校は3年目となる。学習指導要領等を踏まえて教育課程を編成するので、令和5年度は大きな変更点はない。

「Ⅰ 教育課程編成の基本的な考え方」では、大きく5点について示した。「1 金沢ベーシックカリキュラムに基づく特色ある教育課程の編成」では、(1) 学力調査、体力・運動能力調査等の結果や金沢及び地域の資産を生かした特色ある教育課程の編成について、(2) 中学校区の実態に応じた教育課程の編成について、(3) 道徳教育、(4) 人権教育、(5) 健康教育推進プラン2019に基づく健康教育の指導計画作成と教育課程の編成について記載している。

「2 金沢ふるさと学習の推進」は、変更点はないが、(4)にあるように、「金沢SDGs」の視点からさらに各学校の実情に応じて総合的な学習の時間等が充実するよう、引き続き学校に伝えていきたい。

「3 金沢『絆』活動の推進」は、変更点はない。

「4 特別支援学級、通級指導教室における教育課程の編成」は、「金沢市特別支援教育指針（第

2次)」の基本理念に基づいて教育課程を編成するよう示している。

「5 信頼される学校づくりに向けた教育課程の編成」は、変更点はない。

「II 教育課程実施の基本的な考え方」では、「1 教育課程実施における量的な把握と質的な把握」の(2)にあるように、金沢型学習スタイルに加えてICT版金沢型学習スタイルに基づく授業改善を図ることを示した。1人1台学習用端末が整備され、令和5年度で3年目となる。児童生徒の資質・能力を育成するための効果的な端末の活用について、さらに授業改善が図られるよう伝えているところである。

「III 教育課程編成・実施の留意事項」では、各学校において教育課程や指導計画を作成する際に盛り込むべき内容や留意すべき事項等を具体的に示している。「1 指導計画の内容」では、小・中学校において今年度給与済の教科書を来年度も引き続き使用することから、記載した教科・学年においては教育課程の編成に留意するよう示している。

「7 GIGAスクール構想に基づく教育課程の実施に向けて留意すべき内容」では、(3)に「金沢型StuDX Style」を参考とすることを付け加えた。「金沢型StuDX Style」は1人1台学習用端末を活用した実践例であり、各学校から提出されたものをまとめたものである。それらを参考にすることで、各学校における活用のさらなる充実を目指す。

「IV 新型コロナウイルス感染症対策と学びの保障の両立に向けての留意事項」では、引き続き感染症対策を講じながら、児童生徒の学びを止めず、学校ならではの学びを最大限確保することなどを示している。「2 各教科等の指導における感染症対策について」では、国の通知に基づき、感染症対策を講じながら、授業や部活動、各種学校行事等の教育活動を可能な限り継続するための留意点を4点示してあり、こちらについても変更はない。

本日、この案をお認めいただければ、各学校に通知し、各校の校長がこの基本方針に基づいて、学校の実情に応じた特色ある教育課程を編成することとなる。

田邊委員

全体の構成や内容については、学習指導要領を踏襲していますので、この形で進めていただくことに全く異論はないのですが、幾つかの点についてお伺いします。まず、表現の仕方で、「教諭」であったり「教師」であったり、揺れがある点が気になりました。一つは、8ページの「(6) 道徳教育推進教師の役割」という表現です。他の箇所は「教諭」などの表現だったと思うのですが、ここだけが「教師」という表現になったのは、通常使われている表現だからということでしょうか。

地下学校指導課長

「道徳教育推進教師」は一つの名称として挙げられているため、ここは「教諭」ではなく「道徳教育推進教師」としました。

田邊委員

分かりました。それから、参考のためということで、この方針を踏まえて各学校で裁量的な取り組みが推進されていくと思うのですが、もし差し支えなければ、これを踏まえて各学校で独自の教育課程を編成するとか、この方針はそういうことを推奨していますので、何か特色ある取り組みや特筆すべき事例があれば教えていただきたいと思います。

もう一点、昨年から1人1台端末がかなり活用されていると思うのですが、それに関連して授業改善を進めていくという方針なので、こういう授業改善の兆しが見られるとか、特筆に値するようなことがもしあれば教えてください。

地下学校指導課長

具体的な教育課程については金沢型ベーシックカリキュラムという形で各学校に示しています。一番右側に「特色ある教育活動、学習活動」という欄があって、そちらには基本的に、金沢市としてはこういった学習内容に対して金沢市の学力調査や体力調査の結果を踏まえて、こういったところが弱いということを既に位置付けたものを送付しています。

それに対して各学校は、各学校で分析した視点の中で、ここの学習内容については弱いから、金沢市としては位置付けていないけれども自分の学校はここを大事にしようという場所が教科学習としては位置付けています。それがまず一つです。

それから、総合的な学習の時間はそれぞれの地域の特色を生かすという意味で、そうした素材を生かすことが明らかに取り入れられているので、金沢市としてこういう素材を扱ってほしいという大枠は金沢ふるさと学習として一律で示しつつ、その中からチョイスしながら各学校が実情に応じて特色ある教育活動、教育課程を編成していると考えています。

1人1台学習用端末については、学校訪問のときにそれを活用した授業を必ず参観し、各学校がどういった使い方をしているのか、どういったところに苦慮しているのか、学校の中で先生たちにどれだけ悩みや活用度合いに差があるのかといったところを把握しながら、各学校に対してできる限りの指導・助言を行っているところです。

現状としては、大型提示装置としてモニターが1台ありますが、これは授業の冒頭に学習課題を把握する場面で使用したり、交流場面においては子どもたちが端末に記載した個人個人の考えが全て一覧として表示されて全体の様子が見えるように活用したりしていますので、現在提供されている1人1台学習用端末や大型提示装置は、授業の中で着実に活用されていると認識しています。

田邊委員

新しい学習環境に応じて、指導のスタイルが工夫されているという評価ですね。特色ある取り組みについては、いろいろなカテゴリーがあるのでしょうけれども、それぞれの学校の地域の資源を生かした取り組みであったり、弱点とされるようなところの補強をしたりといった、いろいろな対応で展開されているということですね。了解しました。

長澤委員

8ページに「(7) 人権教育担当者の役割」とありますが、「人権教育担当者」はどのような授業を担っているのでしょうか。

地下学校指導課長

人権教育については教育活動全体で行う形になっています。例えば国語であっても、算数であっても、各教科の中で子どもたちが人権について考える場面があるので、そういったものを各教科、教育活動全体、学校行事も含めて、位置付けを行う主たる担当者として人権教育担当者が各学校で役割を担っています。

その教員については、当然ですが国や県、市の動向について担当者の連絡会などの場に赴きながら、そこで得た人権教育に関わる情報を各学校に持ち帰って、それをさらに教育活動の中に位置付けていくという役割も担っています。単独で教員が配置されているわけではなくて、学級担任や教科担任が自分自身の校務分掌の役割の一つとして担っています。

長澤委員

そうすると、各教科の中で人権教育がどのように反映されているのかということ、学校としてどのように共有するのでしょうか。

地下学校指導課長

今申し上げた各教科や学校行事などは、カリキュラムとして決まっています。その内容の中から、この内容については人権教育を行う内容にふさわしいであろうというものは、年間計画として教科ごとの位置付けの中で、この学習内容については人権教育に関するものであるということが一覧として各学校でまとめられていますので、その指導計画に基づきながら、各学校で内容的にそういったものも触れながらやっていくのだという認識で指導しています。

○ 報告第35号 金沢市立学校における新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況について（学校指導課）

（説明の概要）議案書7ページ。9月1日、全ての市立学校で2学期のスタートを迎えたが、新学期を迎えるに当たり、教育委員会から各学校へ、学校ならではの学びを止めないため、基本的な感染症対策の徹底を図るとともに、感染リスクのある「近距離で対面形式となるグループワーク」などは可能なものは避け、慎重に検討しながら実施するよう注意喚起を行ってきている。9月は、秋に修学旅行を予定していた中学校が、感染対策を行いながら実施した。9月28日には、3年ぶりに小学校の連合体育大会を開催した。密を避けるために、より広いスペースで行える西部緑地公園陸上競技場を会場とした。

できる限りの感染対策を行いながら通常の授業を行ったが、9月においての学級措置の件数は、小学校で6校、29人の感染報告を受けている。また、特段の措置を行わないため学校名を公表しなかった児童生徒は1,109人であり、計1,138人の感染を確認している。

なお、全国的な動きとして、9月26日以降、各保健所における感染者の全数把握の見直しがあり、高齢者や重症化リスクのある方などに集中した対応を行うことになった。これらの取り扱いの変更に合わせて金沢市としても感染者数に関する報道発表を取りやめることとしたので、9月26日以降は教育委員会で把握した人数を「学校名公表せず」の欄に加えている。10月は昨日18日までの延べ人数でちょうど600人となっている。

丸山委員	修学旅行をはじめいろいろな行事ができるようになり、生徒たちも喜んでいと思うのですが、こうした行事の中でクラスターや集団感染等は発生しなかったのでしょうか。
地下学校指導課長	クラスターという形で認定されているものはありません。学級閉鎖等の措置は行っていますが、それについては以前にもご報告したように、金沢市としては喫緊4日間で5名の感染者が確認されたら、保健所と相談して学級閉鎖を行っています。
田邊委員	26日以降、全数把握はしなくなったとのことでしたが、生徒については全数把握されているのでしょうか。
地下学校指導課長	そのとおりです。土日も含めて喫緊4日間を捉えていますので、土日の報告も含め学校指導課で報告を受けながら対応しているところです。
木村委員	コロナに感染して学校に行けない場合、ICTで授業に参加しても出席にはならないのでしょうか。それはどのように配慮されるのでしょうか。
地下学校指導課長	基本的に「出席」ではなく「出席停止」としていて、学習内容に遅れが生じないようにオンライン等を活用しながら授業を受ける体制になっています。
木村委員	欠席にはなるのですか。「出席停止」はまた別のことですか。
地下学校指導課長	出席する必要がない日としてカウントされるということです。欠席ではありません。

○ 報告第36号 金沢市立小・中学校の勤務時間記録の集計結果（令和4年度4～9月分）について（学校職員課）

（説明の概要）議案書9ページ。本年度の対象者数は小・中学校合わせて2,067名であり、対象職種は資料記載のとおりである。

4～9月の1カ月当たり平均の時間外勤務時間は、小学校は37時間32分で前年度同時期から1時間26分減、中学校は51時間22分で同じく1時間13分減となっており、勤務日は若干の増加があったものの、週休日・休日は減少している。

時間外勤務時間が月80時間を超える者の割合は、小学校は0.1%と前年度同時期比で3.2ポイント減、同じく中学校は9.9%で7.8ポイント減となっている。

職種別で1カ月当たりの平均時間外勤務時間が最も多いのは、小学校では教頭、中学校では主幹教諭となっている。

新型コロナウイルス感染症に関しては、以前と比較して行動制限が緩和され、学校行事もコロナ禍以前に戻りつつある中、勤務時間については以前の状態に戻らないよう、金沢市教育委員会としても管理職の面談等を通じて指導・助言をしていきたい。

長澤委員

10ページの4の②、中学校の先生の表によると、平成29年と比べて時間外勤務時間が大幅に減っていることから、現場のご努力が結果となって出てきていると感じます。一方で、令和3年と4年を比べると微増、微減という感じが見受けられますが、校務支援システムの活用が現場でどれくらい効果が出ているかという情報は何かありますか。

中村学校職員課長

校務支援システムについては、便利なものが入ったということは教育現場でも理解していただいていると思います。その作業工程といいますか、打ち込み作業といいますか、事前の基礎資料準備等に時間が取られていると年度当初は聞いていましたが、半年以上がたちますので結構慣れてきたと思っています。

また、校務支援システムのヘルプデスクに、こういう場合はどうすればいいですかという問い合わせが毎月のように上がっていますので、先生方は初めて使うシステムではありますが、徐々に浸透してきているように思います。この結果が数字に反映しているのかどうかまでは分析できないのですが、若い先生方からは特に便利なものだというふうには聞いています。ただ、年齢の高い先生にとっては、ICTが不得意な方もいらっしゃると思いますので、そういう方にとっては慣れるまでに少し時間がかかっているという感触は受けています。

長澤委員

時間を短縮するために校務支援システムの働きを期待しているというお話が前の会議でもあったと思います。今後は現場の先生が使いこなしていくことに加えて、校務支援システムを使うウエイトを増やしていくことが時間短縮の効果に影響していくのではないかと考えています。

丸山委員

時間外勤務時間が着実に減っていることは本当に素晴らしいことだと思うのですが、どうしても気になるのは、教頭、主幹教諭、中学校の指導教諭の勤務時間が他と比べるとどうしても多くなっていることです。教頭の仕事を教諭に少し役割分担をさせたりするような意向は何かありますか。

中村学校職員課長

小学校ですと教頭先生の仕事ですね。

丸山委員

教頭、主幹教諭ですかね。中学校になると指導教諭も少し多いと思います。

中村学校職員課長

まず中学校の指導教諭ですが、皆さんもなぜプラスなのかというのは気になる場所だと思うのですが、まず母数が3人であるところが非常に気になっているところで、パーセンテージを見ると33.3%というのは、80時間を超えている方が3人のうち1人いるということです。その方が

平均値を大きく上げているとご理解いただいて結構だと思います。指導教諭は別に時間がたくさんあるわけではないのですが、ここまでやらなければ気が済まないとか、こだわりであるとか、これまでもご説明してきたと思いますが、母数が小さいとどうしても平均値が上がったり下がったりすることはご理解ください。

また、教頭先生の仕事を普通の教諭に回せないかということについては、私も教頭や校長を務めてきた中で、教頭先生の仕事はむしろ先生方をフォローする仕事ばかりなので、教諭にその仕事を回すと教諭の時間外が増えてしまうし、教頭の役割ではなくなってしまうのかなと私は思います。ですから、教頭先生の仕事をややカバーしているのが主幹教諭ですので、主幹教諭も当然時間外は増えるものと私は認識しています。

木村委員

学校訪問で行ったある学校ですけれども、6時か7時に必ず帰るといふ学校がありました。あの学校のやり方が非常にお手本になるというか、それを徹底していても学校が動いているということ、何かの折に皆さまに紹介するのも一つの方法ではないかと思えます。

中村学校職員課長

私どもも良い事例はご説明しているつもりです。その学校の文化というか、メンバーにもよると思えますが、早く帰れる学校は、やはり早く帰りやすい職場であったり、人間関係であったり、チームワークであったりと思うので、そうした事例は今後も引き続き校長会議等でお示ししていきます。できれば総合訪問等でぜひ教育委員の方から、「こんなことを前回の学校でお聞きしたのですけれども」というふうに私の援護射撃をしていただくとありがたいと思えます。私はいつも同じことを皆さんに言っていますので、ぜひそこは助けていただければと思えます。よろしく願います。

田邊委員

総じて減ってきたことは努力の賜物だと思います。グラフに表れているのは本来ないにこしたことはないという時間数ですので、ぜひそれがさらに減ってほしいと思うのですが、これまでは世代ごとの統計がありました。従来よくいわれていたように、若手層の時間外勤務時間が多いという傾向はあるのでしょうか。

中村学校職員課長

昨年度までは3カ月ごとに出していたと思いますが、少しずつ資料も簡素化しているので、年代別の時間外勤務時間は現在集計していません。ですが、一緒に学校訪問をしていて私から申し上げているのは、やはり若手の時間外が多いということです。ただ、全体的に学校として皆さん業務改善に取り組んでおり、一人一人が少しずつ時間外を減らそうという意識が高まっているので、全体的に下がっているのではないかと分析しています。

田邊委員

若い人は業務に慣れるために時間を費やしてしまう傾向があるように思うのですが、それが削減されたということは、若手も仕事を的確にこなすようになってきたのであれば喜ばしい限りなのですが、そのあたりが徹底しているかどうか、しっかりと看取っていく必要がありますね。

中村学校職員課長

そうならいけば私も良いと思えますが、できていることは間違いないと思えます。私が訴えているのは、毎日ではできないかもしれませんが、帰れる日は帰ってくださいということです。どうしても遅くまで残らなければならない日は残っても結構だと思うので、メリハリをつけた仕事をしていただきたいということで若手にも少しずつ浸透しているのではないかと思います。現場を回っていても、決して若手が楽になっているとは思いませんので、そのことを言い続けながら1分でも2分でも時間外が減るよ

うに呼び掛けていきます。

田邊委員

意識改革が進んだことは确实だと思いますので、とにかく仕事をこなした上での時間改善に取り組んでいければと思います。

野口教育長

私は行き帰りバス通勤をしていて、行きのルートと帰るルートを変えるようにしているのですが、特に帰るときにバスから見える学校が前と違っているなど思うのは、退庁時間がしっかり守られているということです。以前はこの時間電気がついていただけ、最近は電気が消えているなど思うことが増えてきたように思いますし、遅い時間に学校の前を通ると、駐車場に止まっている車の数が少しずつ減っているなど感じます。私が通る時間は大体一定しているので、以前と比べて減ってきていることが見て取れます。元通りの学校の仕事に戻りつつありますので、平日は若干増えているけれども、休日は減っているという数字に表れていると思いますので、これからも注視しながら、さらに減っていくように取り組みたいと考えています。

○ 報告第37号 令和5年度金沢市立工業高等学校全日制の課程第1学年入学者募集要項について（市立工業高校事務局）

（説明の概要）議案書12ページ。この募集要項は、6月に石川県教育委員会より通知された令和5年度石川県公立高等学校入学者選抜方針に基づき、出願資格、出願手続、入学者の選抜方針や日程などを定めたものであり、県立高校と同様の内容となっている。また、昨年との比較で、日程以外に特段の変更点はない。

出願資格は、令和5年3月に中学校等を卒業見込みで、石川県内に居住する者または入学までに県内に居住することとなる者が対象となる。

募集定員は昨年度と同数で、機械科80人、電気科・電子情報科・建築科・土木科が各40人の合計240人である。

入学願書の受付期間は、令和5年2月15日（水）から同月20日（月）までとなっている。学力検査は3月7日（火）および8日（水）の両日に実施する。合格者の発表は3月15日（水）に行う。

推薦入学の募集人員は昨年と同数で、募集定員240人の25%にあたる5科60人とする。推薦入学の出願期間は令和5年1月26～30日とし、面接を2月3日（金）に行う。なお、推薦入学者の選抜では、教科の学力検査は行わない。また、合格内定通知は2月9日に各中学校長を通じて本人に通知する。推薦入学の合格者の発表は、3月15日正午に一般入学の合格者とともに発表する。

一般入学の学力検査等における救済措置に関しては、予防すべき感染症や風水震火災による交通遮断等により一般入学の学力検査の一部または全てを欠席した場合において、本人からの申請に基づき、本校校長が審査し、認められた者に対して追検査を実施する。追検査の受検希望者がいる場合は、一般入学の学力検査日である令和5年3月7、8日両日も午前9時までに中学校長から本校校長に電話で伝え、3月8日の原則午後4時までに中学校長を経由して本校校長へ受検申請することとなっている。なお、合格者は若干名とし、一般入学の合格者に追加することとなる。追検査の実施日は3月23日である。追検査の結果は、3月23日に中学校長を通じて本人に通知することとなっている。

なお、本会議においてご承認いただいた後、11月に入学募集要項の告示を行う予定である。

田邊委員

一般入学の学力検査の追試験があると説明していただいたので、こういうこともあるのだということを改めて知ったのですが、対象者が学力検査の一部または全てを欠席した者となっています。全てを欠席した者は全て

の受検科目を受けることになるとと思いますが、一部は受けたけれども一部欠席した場合もあると想定すると、既に試験を受けたものは追検査を行わないのか、改めて行うのか、このあたりの扱いはどうなっているのですか。例えば国語は既に受けていて、その後を受検できなかった場合、既に行った国語は追検査を行わないのか、改めて国語も実施するのか、そのあたりはどうなっているのでしょうか。

長谷川市工高事務局長

追検査の内容は、検査Ⅰで国語と外国語、検査Ⅱで理科、社会、数学を実施することになっていますので、改めて検査Ⅰ、検査Ⅱを受検することになります。

田邊委員

内容も異なりますので、改めて全て受検し直すということですね。

長谷川市工高事務局長

補足しますと、検査Ⅰで国語と外国語、検査Ⅱで理科、社会、数学をまとめて受けることになり、検査時間も異なりますので、改めて受けていただくことになります。

田邊委員

対象者はそんなに多くはないと思いますが、想定はされるわけですね。途中で体調が悪くなったりすることもありますので。分かりました。

○ 報告第38号 令和5年度からの金沢市立工業高等学校の新制服について（市立工業高校事務局）

（説明の概要）議案書20ページ。現在の市立工業高校の制服は、男子は学生服、女子はブレザーとスカートとなっている。女子の制服のデザインは、平成6年度の変更から28年が経過していること、時代の変遷とともにスラックス選択制など生徒の多様性への対応を配慮した制服を導入している高校が増えてきている現状等を踏まえ、令和5年度入学生からの制服デザインについて校内で検討し、今般決定した。

新制服のデザインについては、業者からの複数提案を基に在校生、教職員、PTA、本校の体験入学参加の中学生などから幅広く意見を聴取し、特に新しい制服の着用対象となる中学生の意見を重視して選考を進め、写真のと通りの制服デザインを決定した。

生徒の多様性への対応を配慮して全生徒のブレザースタイルを基本とし、スラックスまたはスカートとの組み合わせが可能な選択制を導入した。購入選択において、これまで「男子用」「女子用」の区分をしていたが、この区分をなくし、「Aタイプ」「Bタイプ」という表示で選択できるように変更する予定である。制服の色については、市立工業高等学校のスクールカラーである「紺色」のブレザーとし、スラックス・スカートのベースカラーにも採用した。

新しい制服は10月28、29日に開催する本校の文化祭「金工祭」においてお披露目する予定である。

木村委員

スカートのときは、靴下は黒なのですか。

長谷川市工高事務局長

靴下は、本校の校則において男女とも白・黒・紺・グレーの単色と定められていますので、そのいずれかとなります。

木村委員

分かりました。とても爽やかで、見ていて高校生らしい良い制服だと感じました。

長谷川市工高事務局長

大変ありがとうございます。

田邊委員

市立工業高校に陳列してある制服デザインを見て、いずれも良いなと思

いました。これを選ぶに当たって、意見を聴取して選考した結果から判断したということですが、なぜこれが良かったのかという理由はどうだったのでしょうか。

長谷川市工高事務局長

体験入学に来た中学生に三つの案の現物を見ていただいて、アンケートを取り、今お示ししているデザインが最も支持があったということです。自由記載になるので、どれだけの支持があったかというのは分かりませんが、「かっこいい」という意見、「選択できることは良い」という意見がありました。デザインを選んだ理由になるかは分かりませんが、好意的な意見があったと把握しています。

田邊委員

「Aタイプ」「Bタイプ」という区別は、どの選択肢にもあったのですか。

長谷川市工高事務局長

そうです。三つのデザイン案を用意して、見ていただいています。

田邊委員

中学生の目から見て、非常に支持が多かったということですね。分かりました。

○ 報告第39号 令和4年度社会教育功労者表彰について（生涯学習課）

（説明の概要）議案書22ページ。本表彰は、多年にわたり本市の社会教育の振興に尽力し、地域社会の発展に貢献した功績の顕著な方を表彰するものである。社会教育関係団体からの推薦者について、条項に基づき、選考委員会による選考の結果、8名の方を表彰することに決定した。表彰式は11月28日（月）13時30分から、市役所第二本庁舎3階の2301会議室で開催する。

（特になし）

○ 報告第40号 令和4年度上半期における教職員研修等について（学校教育センター）

（説明の概要）議案書24ページ。コロナ禍において新たに組み込んだオンライン研修が好評であり、受講者数も多かったことから、今年度も「オンライン研修」をさらに充実して実施するとともに、受講する先生方が1人1台端末等を活用し、研修資料の配布や振り返りの提出を端末で行うなど、ペーパーレス化を推進した。

夏季休業中の講座数および受講者数は、表のとおりである。実施が55講座となっているのは、講師の都合により延期としたためである。

学校全体で教職員の学びを推進する体制整備として、今年度は教職員自身が主体的に学ぶことに加え、学校全体で教職員の学びを推進し組織的に人材育成等が行えるよう、校内での研修に活用可能なオンライン研修を夏季休業中以外に整備・拡充した。5月より道徳科や学級・授業づくりのほか、学級経営の講座に、学校全体や若手教員が学ぶ校内研修として多くの学校から受講していただいた。25ページには、研修の五つの重点と主な内容を載せた。

GIGAスクール推進を確実にものにするために、今年度は昨年度の「Googleプレ研修」「Googleコア研修」に加え、「Googleコア研修」を受講した先生方がさらに発展的に学べるよう、「Googleコアプラス研修」を新設した。

事例・教材共有ポータルサイト「ミライシード・ラボ」には、研修資料や研修動画に加え、昨年度末に約200本の学習指導案を新たに掲載し、各学校で教材研究等に活用していただいている。

海外教育派遣研修についてである。中国・大連市への派遣研修は今年度も中止としたが、大連市教育局局長にご出席いただき、NPO法人日本海国際交流センターの古賀理事長を交えて、コ

コロナ禍における授業や教職員研修をテーマに、大連市教育局と金沢市教育委員会のオンライン交流会を実施した。

丸山委員

集合型とオンラインの研修の両方が行われていますが、両者の区分けはどのようにされていますか。

熊谷学校教育センター所長

集合型は、主に初任者研修等で横のつながりを持ってほしいものであったり、体育の授業の実習であったり、プログラミングの操作や理科の実験であったり、パソコンのICT端末の操作のようなものについて実施しています。

オンラインに関しては、例えば各教科の研修などは十分に学校で学ぶことができる点と、オンラインでもグループディスカッションができることから、主にオンライン研修としています。

田邊委員

オンラインの活用がかなり広がってきたと思いました。オンラインを活用するときも、例えば教職員支援機構などで全国的に配信しているような研修プログラムもありますが、いずれもオンデマンドですので、個々に研修する形での受講も可能ですよね。これらの受講者はこの統計の中にカウントされているのですか。

熊谷学校教育センター所長

教職員支援機構のオンデマンドの研修等については、「事例・教材共有ポータルサイト」で常にアクセスできるようになっており、これについては申し込みが不要となっているので、数字にはカウントされていません。

ただ、研修自体について年間を通してどうであったかとか、若手を早期に育成することについてはどうであったかということ各学校に調査する中で、活用されていることは把握しています。

田邊委員

これからはかなり個人ごとに研修記録を蓄積していく方向になっていきます。センターでの講座の記録もさることながら、外部の機関で実施されている講座の受講も積極的に促されていくとすれば、それを受講した場合は個人の記録には記録されるけれども、センターの講座の中には反映したりしなかったりという扱いで対応されるということですね。

熊谷学校教育センター所長

センターに申し込みいただいた校外研修については、システム上は記録されていますが、先生方がそれに加えて自分たちで個々に学んだ研修履歴を残していると聞いています。ただ、来年度から任命権者が研修記録を管理することになっていきますので、今まさしく県と連携・相談をしているところであり、今の方向ではセンター等に申し込んで受けた研修履歴と、先生方が自主的にさまざまなところに研修に行ったり、オンデマンドで学んだりしたことについては、同じような形で先生方に書き込んでいただいて、全ての情報が残るような方向で進んでいます。

田邊委員

将来的には個人で研修の記録を蓄積されたものは、センターで集約する方向になるのですか。県全体で集約されるのですか。

熊谷学校教育センター所長

任命権者が先生方の研修記録を管理することになっています。ただ、金沢市は中核市ですので、金沢市として検証した上で県と連携をして、県の方で管理していただくこととなります。例えば周辺の野々市市や白山市に異動した場合も、先生方が活用していけるよう準備を進めているところです。

田邊委員

研修のやり方もかなり拡散していきますから、逆に集約するのが容易ではないと思います。

野口教育長

県の方とは、システムの構築についてと、研修履歴の内容を何にするのかの2点でやりとりはしていますが、少なくとも来年度から研修履歴が残ることになりますから、いずれにせよ急いでやらなければならないと思っています。県も市も認識は同じですので、速やかに準備を進めていきたいと思っています。将来的に国では、いろいろな自治体のシステムを参考にして国一本のシステムにしたいと言っており、そうなる何を残すかという部分についてもおのずと統一化されていくと思っています。今後も国の動向を注視していきたいと思っています。

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 _____ 署 名

教 育 委 員 _____ 署 名

(丸山委員)